市内私立保育所・認定こども園を見学
保育士リクルートバスツアー

市と西宮市保育協議会は、保育士を志望する人に私立保育所をよりよく知ってもらうため、市内の私立保育所および認定こども園21園を4エリアに分けて見学する「保育士リクルートバスツアー」を開催します。

日程・コースは下表のとおり。ぜひご参加ください。

【対象】保育士を目指す学生、現在は保育士として働いていない資格取得者

【定員】各15人

【申込】8月15日までに西宮市保育協議会のホームページ（http://nishinomiyaminpo.sakura.ne.jp/top）の申込専用フォームにアクセス

日程	コース	
9月5日(月)	A（山口～夙川）	やまよし保育園→ニコニコ桜保育園→善照マイトレーヤ保育園→西宮ＹＭＣＡ保育園→安井保育園→マーヤ保育園
9月6日(火)	B（名塩～甲東）	東山ぽぽ保育園→ひかり保育園→きりん園→聖和乳幼児保育センター→つぼみの子保育園
9月7日(水)	C（甲東～瓦木）	マザーシップ西宮北口保育園→一麦保育園→まつぼっくり保育園→なでしこ保育園→西宮セリジェ保育園
9月8日(木)	D（今津～鳴尾）	かえで保育園→西宮夢保育園→甲子園保育所→武庫川女子大学附属保育園→なぎさ保育園

※いずれも午前10時に市役所本庁舎正面玄関前に集合

問　西宮市保育協議会（0798・72・7234…夙川宝プリスクール内）

来年4月採用予定　中央病院薬剤師募集

市立中央病院は、来年4月採用の薬剤師を募集します。

募集要項・申込書は市立中央病院人事給与課（同病院3階）で配布しているほか、市のホームページ（市政情報→人事行政・職員採用）からダウンロードできます。試験は8月20日。

【対象】昭和61年4月2日以降に出生した免許取得者(来春の国家試験で取得見込みも可)

【基本給月額】22万8144円～27万1600円　※他に諸手当あり。基本給月額は平成28年4月1日現在の額。経歴、給与改定等により異なる場合あり

【定員】1人

【申込】所定の申込書など必要書類を8月12日までの午前8時半～午後5時に同課へ持参か郵送（必着）を

問　市立中央病院人事給与課（0798・64・1515）

住宅のバリアフリー化費用を一部助成

市は、住宅などをバリアフリー化（改造）する場合、費用の一部を助成しています。

助成の対象になる工事は右表のとおりです（②③は予算が無くなり次第、または、11月30日に受付を終了します）。

問合せは各担当窓口へ。　※平成28年度から①②に該当し、昭和56年5月以前に工事着手された戸建て住宅に住む人は、耐震診断が必要な場合がありますので事前に相談を

▶住宅のバリアフリー化に対する助成

助成種別	対象・助成内容	担当窓口
① 特別型	介護保険の要支援・要介護認定を受けた被保険者のいる世帯が、既存住宅を身体状況に応じてバリアフリー化する場合、助成対象工事費の3分の1以上を助成します。所得制限あり	生活支援課（0798・35・3175）
	介護保険の対象にならない身体障害者・療育手帳を交付されている人のいる世帯が、既存住宅を身体状況に応じてバリアフリー化する場合、助成対象工事費の3分の1以上を助成します。所得制限あり	生活支援課（0798・35・3157）
② 一般型	①以外で、60歳以上の人と同居の世帯が、既存住宅を高齢者などに配慮した住宅に改造する場合、助成対象工事費の3分の1を助成します。なお、あんしん賃貸住宅として登録されている既存民間住宅の所有者も対象です。所得制限あり	すまいづくり推進課（0798・35・3761）
③共同住宅（分譲）共用型	1棟21戸以上の分譲マンションの管理組合が、共用部分を高齢者等に配慮した改造工事を行う場合、助成対象工事費の3分の1を助成します（平成14年10月1日以降に建築されたもの、および1棟51戸以上で5年10月1日以降に建築されたものは助成対象外）	

多文化共生を考える
発想の転換～心の壁を取り払うために

兵庫県立大学准教授　乾　美紀

私たちは、珍しい習慣や異なる外見に敏感になりすぎることがあります。例えば留学生が握手やハグ（抱擁）で挨拶をしていたり、外国人の子どもがピアスをしているのを見ると、違和感を覚えないでしょうか。日本の常識は世界の常識と考えがちなので、外国人との習慣の違いを見つけると、それを受け入れることに躊躇（ちゅうちょ）してしまうのです。それがエスカレートすると、外国人と距離を置いたり、子どもの世界ではいじめが起こったりします。いじめは、違いを探すことから生まれるといえます。

しかしながら、それは正しいことではありません。発想の転換をし、似ているところを探すと人間関係や視野が広がり、寛容度の高い人間になれます。特に、外国人と接する中で、彼らとの共通点を見つけると一気に仲良くなれます。例えばベトナムでは、お正月にお年玉をあげる習慣があるようです。ブラジル人の子どもが耳にピアスをしていても、お弁当の中身がおにぎりだった時は親近感が湧（わ）いてきました。

ところで、ブラジルやペルーから来た日系南米人は、日本にどのようなルーツがあるかご存知ですか。彼らは、日本が貧しかった時代に出稼ぎのために南米に渡った人たちの子孫（3世や4世）なのです。時代や国境を越えて、外見は変わっているかもしれませんが、日本人の流れをくむ人々です。増加している中国人の中で、中国帰国者と呼ばれる人も同じです。彼らは第二次世界大戦後、混乱の中で中国に取り残された日本人の子孫です。また、ベトナム人の多くは日本が受け入れた難民の2世や3世またはその家族ですが、日本に帰化した人もいます。そのような事実を知ると、親近感を覚えてきますね。

私たちは普段の生活の中で違いを強調しがちですし、私自身も、「多文化共生」という、違いを前提にした学問を研究しています。でも、国という単位を取り払い、個人レベルで人を見ると、共生に近づけるように思います。人は違って当たり前だからです。発想を転換し、違いを受け入れ、共感できると心の壁を取り払うことができるでしょう。皆さんも少し心の窓を広げて、多様な背景を持つ人との共生を考えていきませんか。

問　秘書課（0798・35・3459）

人権を考える市民のつどい
思いやる心を大切に

8月は「人権文化をすすめる県民運動」の推進強調月間です。

石川結貴さん

社会はさまざまな価値観を持った人やいろいろな年齢・国籍の人によって成り立っています。自分と異なる人を排除したり、認めないというのではなく、日常の交流を通して、お互いの「こころの壁」を取り払いましょう。

市は、8月24日(水)午後1時半から勤労会館ホールで「人権を考える市民のつどい」を開催します。ジャーナリスト・石川結貴さん＝右上写真＝が、「今、子どもの世界で何が起きているか～ネット・いじめ・友達関係に悩む子供たち」をテーマに講演します。また、宮水学園コーラスグループ「ウエンズフォー」が合唱を披露します。入場無料。申込不要。手話通訳・要約筆記あり。　※車いすで来場する人は、事前に人権平和推進課へ連絡してください

問　人権平和推進課（0798・35・3320）